

(株) 苫東 第 20 回 経営諮問委員会の概要

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 25 日(水) 13:00~14:20
- 2 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 3 階「平安の間」
- 3 出席者 9 名(全員)
- 4 議 題 ・最近の主な動き
・平成 27 年度経営概況について
・平成 28 年度事業計画等について
・「2030 年の苫東」について

5 委員からの主な意見

- 北海道は食と観光の振興に戦略的に取り組む必要があるが、アジアを意識した食関連産業の推進に向け苫東の果たすべき役割も大きい。
- 苫東は物流インフラの重要地であり、北海道経済の発展のためにも苫東の物流拠点としての優位性の一層の発揮を期待したい。
- 海外の観光客等への産業観光も検討願いたい。
また、インダストリアルツアーなどによって海外資本を取り込むことも重要である。
- 「食と農の景勝地」は、フードツーリズムとアグリ(グリーン)ツーリズムが融合した新しいツーリズムを提案するものであり、旅行者の志向に合わせてその両面を訴求することが可能である。
- 将来的な経営基盤強化のため、再生エネルギー、水素関連など新たなプロジェクトを呼びこむことも重要である。
- 雇用創出は重要な課題であり、KPI(重要経営指標)などを用いて、雇用の増加について評価すべき。
- 経済の活性化には二次産業の活性化が欠かせない。食と観光、さらにモノづくりの三本柱で北海道経済を発展させてほしい。
- 自動車社会の未来像のキーワードは「ICT 化する自動車」。苫東には自動車社会の未来に向けた取り組みを進めてほしい。
また、苫東は自動運転走行コースでも最適なインフラを有しており、日本版 M-City の設置を進めたい。

以上